

外国語科単元構想シート \*単元や題材など内容や時間のまとまりで作成する

単元名	対象学級	年 組
	生徒数	名 (男子 名, 女子 名)
	担当者	

1 単元の目標（何ができるようになるか）※ 評価規準は、単元の目標に準拠する。

知 識・技 能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力等

2 単元で働かせる「見方・考え方」

- 
- 
- 
- 

3 単元における「学習課題」と「期待する姿（ゴール像）」

【単元の学習課題】

【期待する姿】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて（外国語科における授業改善の視点）

主体的な学び (学習への興味や関心を高める場面, 学習の見通しを持つ場面, 学習を振り返り次につなげる場面の設定)	対話的な学び (自己の思考を広げ深める場面の設定)	深い学び (見方・考え方を働かせながら思考・判断・表現する場面の設定)

4 単元の指導と評価の計画（全 時間）			
時間	学習過程	【評価の観点】 評価規準 [評価方法]	学習課題(■)と主な学習活動(◎、○) ※学習活動を複数記述した場合、重点(◎)、それ以外(○) 单元の中で「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現を目指す主な場面
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び
			【学習課題】 ■ 【主な学習活動】
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び
			【学習課題】 ■ 【主な学習活動】
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び
			【学習課題】 ■ 【主な学習活動】
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び
			【学習課題】 ■ 【主な学習活動】
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び
			【学習課題】 ■ 【主な学習活動】
			主体的な学び   対話的な学び   深い学び

※「主体的・対話的で深い学び」は、1 単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で、例えば主体的に学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、学びの深まりを作り出すために、子供が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で実現していくことが求められると「答申」で述べられています。